

オリーブの会通信

2011年6月6日

発行：特定非営利活動法人KHJ香川県オリーブの会
〒760-0078 高松市今里町一丁目 499-2
連絡先 TEL/FAX 087-843-9877 (川井)
<http://khj-olive.com/>



法人化3周年記念講演会

(同封チラシ参照)

日 時	2011年6月26日(日) 13:00~受付 13:30~16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター 7階 第二中会議室 高松市番町1-10-35 Tel 087-835-3334
内 容	13:30~ 開会 13:45~15:00 法人化3周年記念講演会 一部 演題「引きこもり者に対する接し方」について —引きこもった子に変化を与える親の動き方— 講師 NPO 法人全国引きこもり KHJ 親の会代表 池田 佳世 氏 15:15~16:30 二部 演題「国の引きこもり支援」について 講師 徳島大学大学院 ソシオ・アンド・サイエンス研究部准教授 境 泉 洋 氏
参 加 費	会員：1家族 1000円 非会員：1家族 2000円

法人化 3 周年記念講演会開催にあたり、ご案内のとおり一部では池田佳世先生の講演を予定しています。KHJ 東東京「楽の会」の代表世話人で臨床心理士でもあり、継続して実施されている「親の学習会」においては成果をあげられているとのこと。

「引きこもり者に対する接し方」について、この講演が親自身にとっても、再確認の機会になればと思っています。

「継続していくことで親自身の心に気づきや変化が起こり、それをじっと見つめている子どもたちがいます。恐怖の中に身を置く子どもたちを復活させることができるのは、親以外にはありえません。」(楽の会 (KHJ 東東京親の会) 学習会の資料より)

また、二部は月例会でもお世話になっています境泉洋先生の「国の引きこもり支援」について 講演を予定しています。徳島大学大学院 ソシオ・アント・サイエンス研究部准教授で臨床心理士の境先生は、徳島県地域若者サポートステーション、徳島認知療法研究会、徳島県引きこもり研究会などにも関わっておられます。

当日は是非ご参加くださいますようお願い致します。

(川井)

【5月例会 (5/22) の報告】(概略)

前半の部 「引きこもりを体験して」



今回は、元当事者 (内 1 名は司会進行) が、6 項目について、それぞれの体験に基づいたお話をされました。そのお話の概略は次のとおりです。

なお、当事者のお話を聴かれた親たちは、彼らの話し方や態度に心を打たれたようでした。

(1) 自己紹介について

- インスの Y さんに出会った
- オリーブの会に月 1~2 回出させてもらっている
- パソコンの修理をする
- ホームページの作成もする
- シュタイナー思想を学び社会的なものの見方を学びたい
- パソコン教室で話をさせてもらっている
- 人の為に動くことが苦にならない

(2) 小さい頃の自分

- おとなしかった
- 運動は苦手
- 人の目を気にする
- 先生から可愛がられた
- 優しくて気遣いをする
- 人の評価を気にする
- 近所の子どもと馴染めなかった
- 母に怒られた
- 母が誕生日祝いに近所の子どもを招待したが自分の知らない子が来ていた
- 家族は世間体を気にする
- 学歴にこだわる
- 成績でお小遣いが上下

した ○子どもの意見を聞いてくれなかった ○母が他の子どもと自分を比べた

(3) 引きこもるきっかけ

○高校 2 年中退 ○大学中退 ○潔癖症 ○外に出られないで働けなくなる ○年々ひどくなる

○自分は引きこもりと思ったことは無いが、手伝いに行って他人から引きこもりと認めてくれた ○大学中退 ○学校の勉強はなぜするのかわからなくなった ○支援団体にもいけなくなった

○高校入学後 3 年間のうち半分不登校したがぎりぎり卒業 ○親からのプレッシャーがあった ○大学入学後むなしくなり 1 年間ひきこもり ○昼夜逆転の生活 ○家の中は息苦しかった

(4) 外にでるきっかけ

○イシスの Y さんに出会う

○心の中の思いを実際にやってみると実力がわかる ○大人になっても子どもの部分は残る

○楽しみが見つかると思える ○居場所はここに居ていいんだと思え安心する ○信じてくれると力が湧いてくる ○人との関わりで認めてくれ、肯定してくれると行ってみようかと思う ○先輩(今日の司会・進行者)の存在が出るきっかけ

(5) 引きこもりについて思うこと

○引きこもって自分の本当の姿を見ることが出来た ○長すぎる気がしている ○お互いに人のせいにしていた ○不登校・引きこもりは悪いことではなく新しい生き方を求めている

○治療することは植物を治療することと同じ ○豊かな土壌は天候に左右されない ○元気になる根本は土壌を豊かにすること

○「あきらめない」引きこもり中ずっとこのままでよいとは思っていなかった ○「信じる」親子は信じる ○「当事者」心に留めていることがある

○抜け出すきっかけは必ずあると信じる ○自分を見つめなおす機会と思っている ○父は学校でのいじめを全く知らなかった ○ゆっくりした変化を最後まで聴いてあげて欲しい

(6) これからの夢

○当事者が社会に出る機会を作りたい ○才能を持っている人が多い

○この才能を社会と結び付けられたらいい

- 人は皆平等で新しい価値観で生きられる環境づくりを大事にしたい
- 言葉の大切さ ○「自分の人生なのだから自分で決めたらいい」と言われ
気持ちが楽になった ○受け取り方で気持ちは変化する ○鍼灸やカウンセ
リングの資格が活かせる場が出来ればいいと思う

後半の部 グループ別話し合い

グループ別話し合いは、3つに別れ、元当事者1名をそれぞれに交えての話し合いが行われました。

お話の詳しい内容は省略させていただきますが、各グループでは、終始、熱のこもった話し合いとなりました。

【6月 居場所活動予定】

内 容	日	曜日	時 間	担 当
第2回運営委員会	4日	土	13:30～	川井
個人カウンセリング（松田先生）	11日	土	9:00～	川井
ポパイの会 パソコン教室	12日	日	13:30～	森下

次回【109回 月例会】の予定

日 時	2011年7月24日（日）13:00～受付 13:30～16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター6階 研修室
内 容	グループ別話し合い（6月26日の講演を聴いて気付いたことなど）予定
担 当 G	Aグループ

【110回 月例会予定】

日 時	2011年8月28日（日）13:00～受付 13:30～16:30
場 所	香川県社会福祉総合センター 6階 研修室
内 容	ひきこもり地域支援センターの役割と利用について（仮題） 香川県精神保健福祉センター（保健師 藤田順子氏）予定 親の学習会（予定）
担 当 G	Bグループ

【四国ブロック会議】（KHJ 香川・KHJ 徳島・KHJ 高知・KHJ 愛媛）

日 時	2011年7月3日（日） 13:30～16:30
場 所	居場所 高松市今里町